

主幹教諭研修・指導教諭研修（第 1 回）

全員の主幹・指導教諭

○日時 4 月 6 日（月）9：45～

○会場 鳴門教育大学

○日程

〈午前〉 1 年目の主幹・指導教諭

講義①職務について（教職員課）

②学校におけるコンプライアンスについて

（コンプライアンス推進室）

〈午後〉 主幹・指導教諭全員

講義・演習

①関係の大学教員紹介

②学校組織マネジメントと協働体制の確立（大学教員）

③学校分析の観点と方法（大学教員）

自己研修

自己研修

【5 月～8 月】各校の課題を踏まえ、各テーマから個人のテーマを選び、自己研修

〈自己研修のテーマ〉

主幹教諭のテーマ

- A 学校組織マネジメントと協働体制の確立
- B 危機管理体制の充実
- C 職場でのコーチングの充実
- D カリキュラムの充実
- E 地域連携の構築

指導教諭のテーマ

- F 職場でのコーチングの充実
- G 授業の高度化
- H 校内研修の活性化
- I ICT活用指導力の向上と情報モラルの推進

〈自己研修の流れ〉

- ①勤務校の課題を分析する。
- ②課題解決のためのテーマを一つ選択し改善計画を立案する。
- ③（R）「現状分析」と（P）「改善計画の明確化」のレポートをテーマ担当の大学教員に提出（指導主事に提出し、指導主事がまとめてメールで大学教員に送信。
（大学教員への送信は 5 月下旬までに）
- ④大学教員はレポートを添削し、まとめて指導主事に返信。
- ⑤指導主事は、確認して、添え書きし、受講者に転送。（6 月下旬までに）

※添削等については 1 年目の主幹・指導教諭に対してのみ行う。

主幹教諭研修（第2回）※1年目の主幹教諭

○日時 8月19日（水）
○会場 鳴門教育大学
○日程
〈午前〉
講義・演習
①職場でのコーチングの充実（大学教員）
②カリキュラムの充実（大学教員）
〈午後〉
ラウンドテーブル（RT）（大学教員・指導主事）
①学校の課題分析と改善計画
選択したテーマに関する課題分析と9月以降の計画について、レポートをもとに語り合いと質疑を行う。
各領域担当の大学教員も参加
（※テーマごとにグループに入り助言等）
1グループは4～5人、
1人につき発表15分、質疑15分

2年目以上の主幹・指導教諭

出席はなし

自己研修

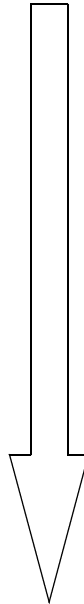
指導教諭研修（第2回）※1年目の指導教諭

○日時 8月19日（水）
○会場 鳴門教育大学
○日程
〈午前〉
講義・演習
①職場でのコーチングの充実（大学教員）
②校内研修の活性化（大学教員）
〈午後〉
ラウンドテーブル（RT）（大学教員・指導主事）
①学校の課題分析と改善計画
選択したテーマに関する課題分析と9月以降の全体計画について、レポートをもとに語り合いと質疑を行う。
各領域担当の大学教員も参加
（※テーマごとにグループに入り助言等）
1人につき発表15分、質疑15分

午前中の講義①は、主幹・指導教諭合同で行う。

自己研修

【9月～12月】



〈自己研修の流れ〉

- ① (D)「実践改善の過程」のレポートをテーマ担当の大学教員に提出（指導主事に提出し、指導主事がまとめてメールで大学教員に送信
大学教員への送信は10月下旬までに）
- ② 大学教員はレポートを添削し、まとめて指導主事に返信。
- ③ 指導主事は、確認して、添え書きし、受講者に転送。（11月下旬までに）

※添削等については1年目の主幹・指導教諭
に対してのみ行う。

主幹教諭研修（第3回）

※全ての主幹教諭

○日時 12月25日（金）

○会場 総合教育センター

○日程

〈午前〉

講義・演習 **1年目の主幹教諭**

①地域連携の構築（大学教員）

②危機管理体制の充実（大学教員）

〈午後〉 **全員の主幹教諭**

ラウンドテーブル（RT）（大学教員）

（※テーマごとにグループに入り助言等）

①実践改善の過程および実践検証

(D)「実践改善の過程」と(C)「実践検証」のレポートを持参し、それをもとに語り合いと質疑を行う。1年目と2年目以降の者を同一グループにする。前半は1年目の者が発表し、2年目以降の者がアドバイスして協議、後半は2年目以降の者が発表して全員で協議する等、有効な振り返りと見直しの機会になるよう工夫をする。大学教員及び指導主事に適宜、助言を得る。

成果物はポートフォリオにまとめる。

（ポートフォリオについては基本的な配慮事項を周知徹底する。）

指導教諭研修（第3回）

※全ての指導教諭

○日時 12月25日（金）

○会場 総合教育センター

○日程

〈午前〉

講義・演習 **1年目の指導教諭**

①授業の高度化（大学教員）

②ICT活用指導力の向上と情報モラルの推進（大学教員・指導主事）

〈午後〉 **全員の指導教諭**

ラウンドテーブル（RT）

（※テーマごとにグループに入り助言等）

①実践改善の過程および実践検証

(D)「実践改善の過程」と(C)「実践検証」のレポートを持参し、それをもとに語り合いと質疑を行う。1年目と2年目以降の者を同一グループにする。前半は1年目の者が発表し、2年目以降の者がアドバイスして協議。後半は2年目以降の者が発表して協議等、有効な語り合いの機会になるよう工夫をする。大学教員及び指導主事に適宜助言を得る。

成果物はポートフォリオにまとめる。

(ポートフォリオについては基本的な配慮事項を周知徹底する。)

自己研修

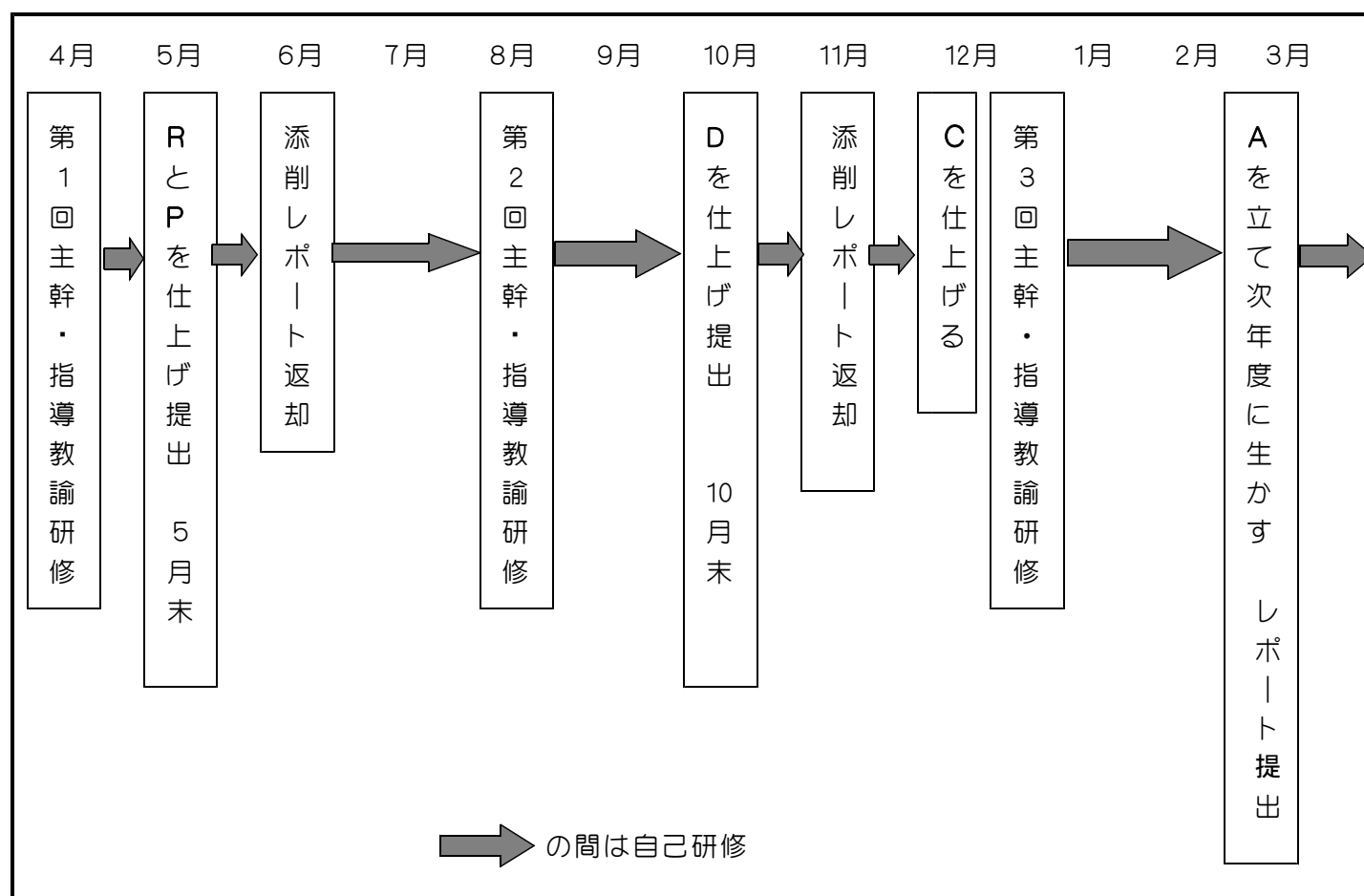
【1月～3月】

①成果と課題を踏まえて、(A)「次年度の計画立案」のレポートを作成する。

②レポート提出 3月末

次年度の実践へ

1年間の流れ (1年目の主幹・指導教諭)



研修レポート（主幹教諭：任用１年目）

学校名（

名 前（

R：学校の現状を具体的に（データに基づきながら），分析しましょう

現 状 分 析	1 児童生徒のよさと課題
	2 教育活動のよさと課題
	3 組織体制，運営面でのよさと課題
	4 その他，特記すべき事項（自校ならではのよさと課題）

自校の課題の改善に向けて選択した研修テーマ

--

P：解決すべき事項を明確にして，改善のためのプランニングを行い ましょう	
改 善 計 画 の 明 確 化	1 児童生徒の実態から，解決すべき課題は何か。
	2 その課題解決のために教職員が取り組むべき教育活動は，どのようなものか。
	3 2の教育活動推進のために，教職員のベクトルを揃え，推進体制を整えるための工夫はどのようなものか。
	(1) ベクトルを揃える工夫
	(2) 推進体制を整える工夫
	4 3に関して，主幹教諭として，特に留意することとは何か。

(* ここまで 5月29日(金)までに送信)

D：実施段階の過程を確認しましょう

実 践 改 善 の 過 程	1 改善計画で掲げた、P2の教職員が取り組むべき教育活動は、どのように改善・実行されているか。
	2 P3の教職員のベクトル揃え、推進体制を整えるための工夫は、どのように実行されているか。
	(1) ベクトルを揃える工夫
	(2) 推進体制を整える工夫
	3 主幹教諭として、何をどのようにしているか。

(* ここまで 10月30日(金)までに送信)

C：取組の検証を行いましょ

実

1 教職員の実践改善は、どの程度進展したか。

践

の

検

証

2 P 1 の児童生徒の課題は、どの程度改善されたか。

	課 題	改善された点	改善が不十分な点
1			
2			
3			
4			

実 践 の 検 証	3 R 1 ～ 4 の学校の課題共有のための工夫や P 3 の推進体制づくりは、どの程度進展したか。
	(1) 課題共有のための工夫
	(2) 推進体制づくり
	4 主幹教諭としての取組は、計画通り進んだか。

(* ここまで 1 2 月 2 5 日 (金) に持参)

A : 今年度を振り返って課題を整理し、次年度に向けて、見通しをもって計画を立てましょう	
	1 次年度に向けて解決すべき児童生徒の課題は何か。

次 年 度 の 計 画 立 案	2	そのために教職員が取り組むべき教育活動は、どのようなものか。
	3	課題共有のための工夫や組織的な実践改善に向けた推進体制づくりは、どうすればよいか。
	(1)	課題共有のための工夫
	(2)	推進体制づくり
	4	主幹教諭として、どのように取り組むべきか。

(* ここまで 3月下旬までに仕上げて提出)

研修レポート（主幹教諭：任用２年目以降）

学校名（

名 前（

R：学校の現状を具体的に（データに基づきながら），分析しましょう

現 状 分 析	1 児童生徒のよさと課題
	2 教育活動のよさと課題
	3 組織体制，運営面でのよさと課題
	4 その他，特記すべき事項（自校ならではのよさと課題）

自校の課題の改善に向けて選択した研修テーマ

--

P：解決すべき事項を明確にして，改善のためのプランニングを行い ましょう	
改 善 計 画 の 明 確 化	1 児童生徒の実態から，解決すべき課題は何か。
	2 その課題解決のために教職員が取り組むべき教育活動は，どのようなものか。
	3 2の教育活動推進のために，教職員のベクトルを揃え，推進体制を整えるための工夫はどのようなものか。
	(1) ベクトルを揃える工夫
	(2) 推進体制を整える工夫
	4 3に関して，主幹教諭として，特に留意することとは何か。

(* ここまで 5月下旬までに)

D：実施段階の過程を確認しましょう

実 践 改 善 の 過 程	1 改善計画で掲げた、P 2 の教職員が取り組むべき教育活動は、どのように改善・実行されているか。
	2 P 3 の教職員のベクトル揃え、推進体制を整えるための工夫は、どのように実行されているか。
	(1) ベクトルを揃える工夫
	(2) 推進体制を整える工夫
	3 主幹教諭として、何をどのようにしているか。

(* ここまで 10 月下旬までに)

C：取組の検証を行いましょ

実

1 教職員の実践改善は、どの程度進展したか。

践

の

検

証

2 P 1 の児童生徒の課題は、どの程度改善されたか。

	課 題	改善された点	改善が不十分な点
1			
2			
3			
4			

実 践 の 検 証	3 R 1 ～ 4 の学校の課題共有のための工夫や P 3 の推進体制づくりは、どの程度進展したか。
	(1) 課題共有のための工夫
	(2) 推進体制づくり
	4 主幹教諭としての取組は、計画通り進んだか。

(* ここまで 1 2 月 2 5 日 (金) に持参)

A : 今年度を振り返って課題を整理し、次年度に向けて、見通しをもって計画を立てましょう	
	1 次年度に向けて解決すべき児童生徒の課題は何か。

次 年 度 の 計 画 立 案	2 そのために教職員が取り組むべき教育活動は、どのようなものか。
	3 課題共有のための工夫や組織的な実践改善に向けた推進体制づくりは、どうすればよいか。
	(1) 課題共有のための工夫
	(2) 推進体制づくり
	4 主幹教諭として、どのように取り組むべきか。

(* ここまで 3月下旬までに仕上げ)